

# ■ DAW 環境 「Logic pro X」 での 新規ファイル作成法（基礎）

- 0 「Logic pro X メニュー」 > 「環境設定」 > 「詳細ツール」。「詳細ツールを表示」 にチェックがあることを確認。左上バツテン閉じ。
- 1 「ファイルメニュー」 > 「新規」
- 2 「ソフトウェア音源」、「音源：EXS24 ( sampler)」 で「作成」ボタンを押す（図 1）。
- 3 ソフトウェア音源「EXS24」の音色を設定（図 2）。 画面右下のフェーダー部分で音源画面の表示や音源変更が出来る（図 3）。
- 4 Mac のキーボードで音を鳴らすためのバーチャル鍵盤は「コマンド+K」で表示される。
- 5 必要に応じて 図 4 「トランスポートバー」上で、「拍子」、「速度」の設定を行う。（3/4 拍子， ♩=88 など）
- 6 【重要】打ち込みの際は、最初に、図 5 「メイン・ウィンドウ」で「鉛筆ツール」を選択し、2 小節程度の「リージョン」を作成。
- 7 リージョンをクリックし「ピアノロール画面」を表示させる。 または
- 8 「ピアノロール画面」では「鉛筆ツール」を選択することで、MIDI メッセージの打ち込みが可能になる。
- 9 「ピアノロール画面」では「ベロシティーツール」（V のツール）によって、音の強さの設定が出来る。
- 10 楽器パートを さらに増やすために新トラックが必要な時は、「トラック」メニュー > 「新規トラック」

図 1



図 3



図 2

▼ 音色の設定は以下をクリック



図 4 「拍子」と「速度」の設定



▼ 打ち込みの前に、「鉛筆ツール」を使って 2 小節のリージョンを作成した図

緑の横帯が「リージョン」。リージョンは「データの入れ物」。リージョンをダブルクリックすると「ピアノロール画面」がでる。



図 5

図 6 ▼ ピアノロール画面で、MIDI メッセージを打ち込んだ様子

↓ 鉛筆ツールなどの選択はここ（メニューが2個あるが左側を使用）

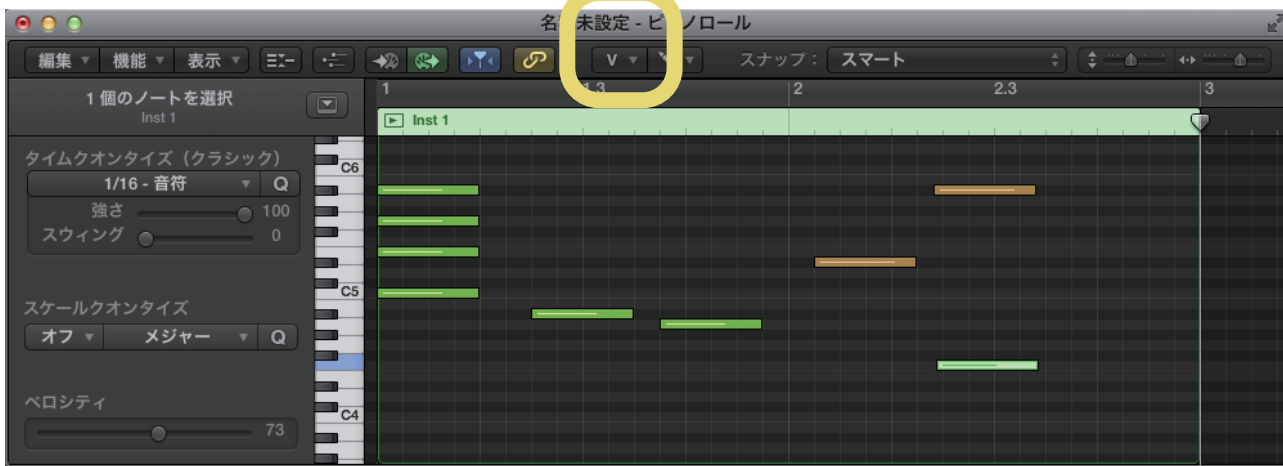
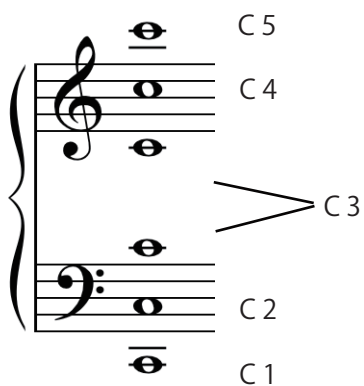


図 7

【オーディオファイルへの書き出し方 - バウンスの方法】

楽譜と MIDI ノートナンバー



▼ 手順1 「リピートバー」で、書き出す範囲を指定する。



▼ 手順2

「ファイルメニュー」> 「バウンス」> 「プロジェクトまたは選択範囲」

▼ 手順3 書き出す方を設定する。

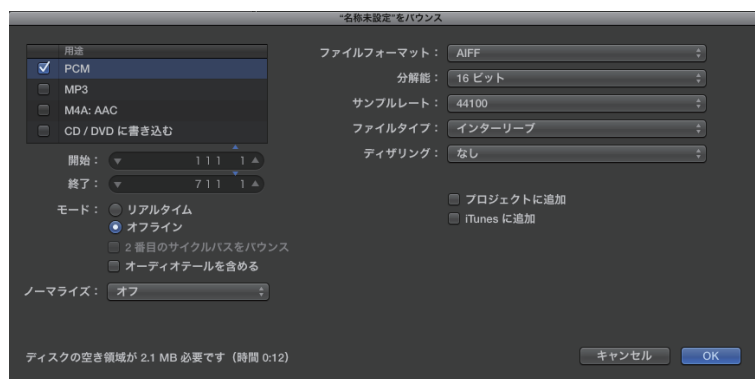


図 8

【音名】

- C ド
- D レ
- E ミ
- F ファ
- G ソ
- A ラ
- B シ

PCM (AIFF, Wave), 分解能 16bit, サンプリングレート 44100  
ファイルタイプ: インターリーブ